

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

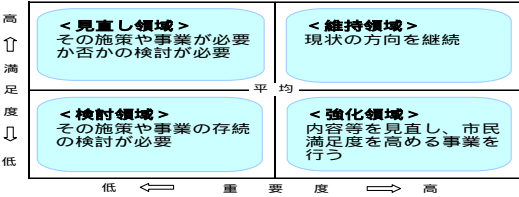
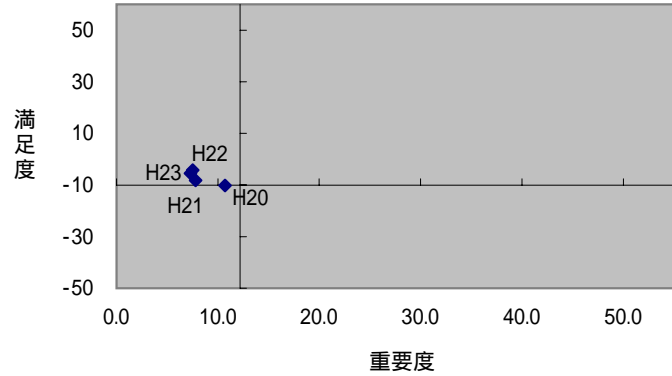
施策名 (小項目)	環境保全	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-01	森本和成	氏名	森本和成
			0869-64-1821・1822	電話	0869-64-1821・1822
			2.0 時間	このシート作成に要した時間	2.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	02 自然と共生するまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動などの環境問題の影響を受ける市民に対し、大気や水質の調査測定を行い公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	大量生産・大量消費・大量廃棄型社会による環境破壊は、大気汚染、水質汚濁、酸性雨、地球温暖化現象、オゾン層の破壊といった現象として現れている。これら環境問題に取り組むには市民一人ひとりの日常生活や事業者の事業活動の中で、それぞれが環境に対する責任と役割を理解し、資源やエネルギーの効率的な利用による循環型社会の構築や自然環境の保全が重要となっている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の防止 水質汚濁の防止 騒音・振動の防止 地球温暖化対策の推進 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	10.7	7.8	7.5	7.3
満足度(%)	-10.2	-8.2	-4.3	-5.5



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度が減少し満足度が上がっているが、依然として大気汚染、水質汚濁、騒音・振動といった公害問題についての苦情、問い合わせが寄せられている。今後も、市民意識の向上を図るとともに、環境の保全や改善に向けた新たな取り組みを行っていく必要がある。
---------------------	---

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	目標	%	20.0	20.0	20.0	H23	20.0
	実績	%	21.6	20.7	18.8	H28	20.0
	達成率	%	92.6	96.6	106.4	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 地球温暖化防止のための行動に取り組んでいる市民の割合	目標	%			50.0	H23	52.0
	実績	%			46.0	H28	60.0
	達成率	%			92.0	-	-
	ベンチマーク						
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク						
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク						

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への 貢献度	
				平成20年度				平成21年度			平成22年度				平成23年度
				直接 事業費	人件費	人工数		直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当初予算 (直接事業費)
1 大気汚染防止事業	B	大気環境測定局維持管理事業	単市	6,935	274	0.04	4,859	865	0.10	3,336	455	0.05	4,343		
		大気汚染監視事業	単市	41	780	0.12	907	889	0.11	2,729	328	0.04	1,518		
		測定機器整備事業	単市	0	234	0.03	741	0	0.00	0	42	0.01	0		
		環境改善施設等整備助成事業	補助	2,101	623	0.10	4,505	228	0.03	7,192	466	0.06		H22終了	
		届出受付事務	単市	0	58	0.01	0	99	0.01	0	16	0.01	0		
2 休廃止鉱山鉱害防止事業	A	坑排水処理事業	補助	56,853	17,698	3.76	78,300	23,041	4.40	53,122	29,584	4.19	81,442		
		水質調査測定事業	単市	1,903	416	0.06	1,748	1,624	0.19	1,412	585	0.07	1,722		
		測定機器整備事業	単市		100	0.01	0	0	0.00	0	63	0.01	0		
		岡山三川水質汚濁防止協議会負担事務	単市	0	100	0.01	0	0	0.00	0	21	0.01	0		
		金剛川浄化対策協議会運営事務	単市	820	479	0.08	790	994	0.12	1,154	2,681	0.29	790		
3 水質汚濁防止事業	B	苦情処理事務	単市	0	3,105	0.39	158	1,974	0.24	8	954	0.10	0		
		届出受付事務	単市		158	0.02	0	275	0.03	0	263	0.03	0		
		苦情処理事務	単市	0	234	0.03	0	327	0.04	0	174	0.02	0		
4 騒音・振動対策事業	B	地球温暖化防止対策事業	補助	0	1,532	0.18	92,074	8,467	0.98	6,784	2,091	0.25	1,600		
		エコハウス管理事業	単市							3,518	1,366	0.17	3,730		
				この施策に費やした資源(単位:千円,人)											
				平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度					
				68,653	27,348	5.05	184,106	40,629	6.47	79,255	40,213	5.44	95,145		

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	野谷坑廃水処理場改修事業	老朽化している処理場を改修し、施設を自動化することにより、維持管理費の軽減を図る。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	市民の生活環境の保全と健康の保護を守る事業で、市の関与は妥当である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	環境保全対策事業として妥当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	市民意識調査結果(騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合)では、ある程度成果が現れており、有効な施策である。	
進行年度(H23年度)の取組内容 (課題解決状況)		地球温暖化防止対策の一環として、クリーンエネルギーを活用した事業展開に取り組む必要がある。休廃止鉱山鉱害防止事業の水質安定のための取り組みと事業の見直しを図る必要がある。	
翌年度(H24年度)の取組目標		クリーンエネルギーの普及啓発に向けた取り組みをする必要がある。	
二次評価者コメント		日常生活に大きく影響を及ぼす公害、生活環境の安定には、市民一人ひとりが環境に対する責任と役割を理解し、官民一体で環境の保全や改善に向けて取り組んでいく必要がある。また、クリーンエネルギーに関して、新たな取り組みが必要である。	
役職 氏名	市民生活部長 野上 茂之		
		基本施策への 貢献度 3 中立	